

医療費助成 高3まで

市22年度から拡充方針

福井市は14日、子どもの医療費助成について、中学3年生までとしている助成対象を2022年度から、高校3年生までに広げる方針を明らかにした。新型コロナ禍の影響が長期化する中、子育て世帯の経済的負担を軽減する。県に補助制度の拡充を要望し、財源を確保する。

費闊連は8億9768万3千円。うち約4億4000万円を県が、残りを同市が支出している。市は22年度から、高校生も対象となるよう対象年齢

を18歳以下までに引き上げる。市によると対象者数は約7千人増える見込み。

14日の市会一般質問で、榎原光賀議員（一真会）の質問に東村新一市長が「経

済的な負担を感じせずに、幅広い年齢の子どもが安心して医療機関を受診できることが強く求められていると認識している」と述べた。

東村市長は昨年3月の市会予算特別委員会では「子育て支援と医療費助成の二つともできればよいがそこまでの財源はない。無理に手を突っ込むと財政赤字という結末を迎える」と説明していた。（武居哲）

【2面に本記】

現在の市の子ども医療費助成制度は、0歳から小学校入学前が通院、入院ともに無料で、小学1年生以上は一部自己負担がある。21年度当初予算で子ども医療